

ICTで 授業 をDX！

学年 小学校1年 教科 など 特別活動

自分の思いをより詳しく、より簡単に伝えよう！

使用するアプリケーション等

・ Google Jamboard
・ Google スライド
・ Google Forms
・ 学びポケット

単元・題材 学級活動（1）

本時の目標 提案理由に沿って、自分の考えを伝え、みんなで決定する。

ICTを活用することで できること

- ・これから話す議題の内容につながるものを、写真やスライドを使って視覚的に分かりやすく伝えることができる。
- ・言葉以外のイラストや劇などを用いて提案理由を伝えやすくなる。
- ・提案を紙からGoogle formsにすることで、議題の設定にかかる事前準備の負担を減らすことができる。
- ・話し合いの中で、意見の説明を端末上でその場で可視化することができる。
- ・イメージが具体化されるため、賛否の判断がしやすく、話し合いがスムーズなる。

DX前（ICTを使っていなかった頃は・・・）

1 導入

- ① 提案理由の確認 文章やイラスト、劇などで伝える。
- 例示としての具体物の用意を事前にしておく。

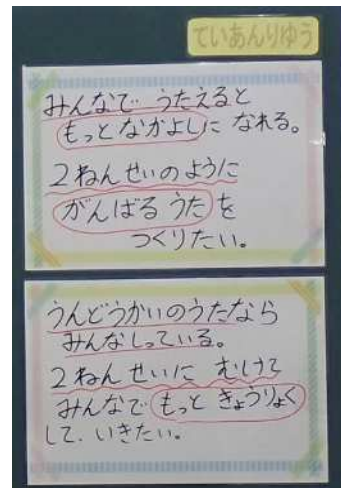
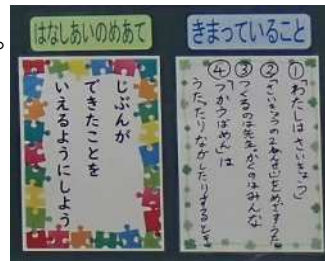
2 展開 ※話し合い内容によって、活用するサービスが変わるため例示

話し合いのめあて	提案理由に沿って、自分の考えを伝え、みんなで決定する。
話し合うこと	① キャラクターにする動物（やさしく・かしこく・げんきよく）
	② 持たせるもの（より思いを際立たせる道具）
	③ 分担（イラスト・色塗り）

- ① 賛成や心配の意見を、理由をつけて発表する。
- 事前に学級会ノートに、自分の考えと理由を書いておく。
・ 「〇〇がいいと思います。理由は〇〇だからです。」
- ② 賛成や心配の意見に対して、解決策がないか考え発表していく。
- みんなが納得する意見をもって集団決定をする。
- ③ みんながやりたいことの意見を決定する。
- 決まらなかった意見の活用方法を考える。

3 まとめ

- ① 決まったことの確認をする。
- ② ふりかえり
- できたことをふりかえり、発表をする。
・ 「〇〇ができました。」
- ③ 実践
- 実際にやってうまくいったこと、いかなかったことを考える。

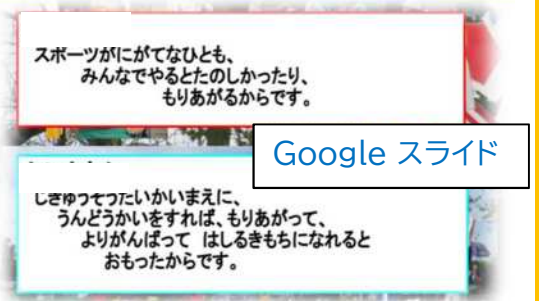


DX!

DX後（赤字はICT活用場面）

1 導入

提案理由の確認をICT機器等を使って、スライドで伝える。
必要に応じて、音楽や色など自由に設定でき、
自分の本当に伝えたい気持ちをより詳しく表せる。
具体物の用意も、端末上でオンラインであれば
時間にとらわれずに友達と用意することができる。



2 展開 ※話し合い内容によって、活用するサービスが変わるため例示

話し合いのめあて	提案理由に沿って、自分の考えを伝え、みんなで決定する。
話し合うこと	① キャラクターにする動物（やさしく・かしこく・げんきよく）
	② 持たせるもの（より思いを際立たせる道具）
	③ 分担（イラスト・色塗り）

- ① 賛成や心配の意見を、理由をつけて発表する。
- 事前に学級会ノートに、自分の考えと理由を書いておく。
 - 学びポケットで、資料を配付し、操作しながらよいものを探す。
- ② 賛成や心配の意見に対して、解決策がないか考え発表していく。
- 学びポケットで互いに作成したものを比較しながら、集団決定へ導く。
- ③ みんながやりたいことの意見を決定する。



- 決まったことをGoogle Jamboardに打ち込む。
⇒ 具体化による賛否の判断材料に
- その場で流れが可視化できるため、分担などもスムーズに行える。
- 電子黒板に提案者の提案理由を常に表示するため、提案者の思いを考えやすくなる。
- 電子黒板を用いることで、黒板上の掲示物が減り話し合いの際に黒板を自由に使うことができる。

- 決まらなかった意見の活用方法を考える。

3 まとめ

- ① 決まったことの確認をする。
- ② ふりかえり
- できたことをふりかえり、発表をする。
 - 話し合いだけでなく、端末操作等による具体物としての「できた」ことが残るため、集団決定した実感が得られやすい。
- ③ 実践
- Google formsで議題の収集をするとともに、実践しての感想を記録し次時に活用していく。

授業者から（成果・課題・留意点）

- ・話し合い活動の根幹となる提案理由を際立たせることができた。
- ・賛成の理由や心配の理由で提案理由に沿った意見が出るようになった。
- ・1年生という実態も踏まえ、聞きながら代わりに打ち込む、画像を探すことが多かった。回数を重ねることで自分たちで選びながら活用できるとよい。